
第2回 三朝町議会定例会会議録（第7日）

平成28年3月9日（水曜日）

議事日程

平成28年3月9日 午前10時開議

（質 疑）

- | | | |
|-------|--------|--|
| 日程第1 | 議案第7号 | 平成28年度三朝町一般会計予算 |
| 日程第2 | 議案第8号 | 平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算 |
| 日程第3 | 議案第9号 | 平成28年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算 |
| 日程第4 | 議案第10号 | 平成28年度三朝町介護保険事業特別会計予算 |
| 日程第5 | 議案第11号 | 平成28年度三朝町簡易水道事業特別会計予算 |
| 日程第6 | 議案第12号 | 平成28年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算 |
| 日程第7 | 議案第13号 | 平成28年度三朝町下水道事業特別会計予算 |
| 日程第8 | 議案第14号 | 平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算 |
| 日程第9 | 議案第15号 | 平成28年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算 |
| 日程第10 | 議案第16号 | 平成28年度三朝町財産区特別会計予算 |
| 日程第11 | 議案第17号 | 平成28年度三朝町水道事業会計予算 |
| 日程第12 | 議案第18号 | 平成28年度三朝町国民宿舎事業会計予算 |
| 日程第13 | 議案第19号 | 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について |
| 日程第14 | 議案第20号 | 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する
条例の設定について |
| 日程第15 | 議案第21号 | 三朝町職員の降給に関する条例の設定について |
| 日程第16 | 議案第22号 | 三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部
改正について |
| 日程第17 | 議案第23号 | 三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の一部改正について |
| 日程第18 | 議案第24号 | 三朝町税条例の一部改正について |
| 日程第19 | 議案第25号 | 三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について |
| 日程第20 | 議案第26号 | 三朝町基金条例の一部改正について |
| 日程第21 | 議案第27号 | 三朝町産業振興審議会設置条例の廃止について |

- 日程第22 議案第28号 鳥取県行政不服審査会共同設置規約を制定する協議について
- 日程第23 議案第29号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第30号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第31号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第26 議案第32号 三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について
- 日程第27 議案第33号 第10次三朝町総合計画の一部変更について
- 日程第28 議案第34号 三朝町過疎地域自立促進計画について
- 日程第29 議案第35号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
- 日程第30 議案第36号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第31 議案第37号 鳥取県自治体 I C T 共同化広域連携協約を締結する協議について
- 日程第32 議案第38号 平成27年度三朝町一般会計補正予算（第 6 号）
- 日程第33 議案第39号 平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第34 議案第40号 平成27年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第35 議案第41号 平成27年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第36 議案第42号 平成27年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第37 議案第43号 平成27年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
- 日程第38 議案第44号 平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第 4 号）
- 日程第39 議案第45号 平成27年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第 2 号）
-

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第 1 議案第 7 号 平成28年度三朝町一般会計予算
- 日程第 2 議案第 8 号 平成28年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第 3 議案第 9 号 平成28年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第 4 議案第10号 平成28年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第 5 議案第11号 平成28年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第12号 平成28年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第 7 議案第13号 平成28年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第 8 議案第14号 平成28年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第15号 平成28年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算

- 日程第10 議案第16号 平成28年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第11 議案第17号 平成28年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第12 議案第18号 平成28年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第13 議案第19号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- 日程第14 議案第20号 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について
- 日程第15 議案第21号 三朝町職員の降給に関する条例の設定について
- 日程第16 議案第22号 三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第23号 三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第24号 三朝町税条例の一部改正について
- 日程第19 議案第25号 三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第26号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第21 議案第27号 三朝町産業振興審議会設置条例の廃止について
- 日程第22 議案第28号 鳥取県行政不服審査会共同設置規約を制定する協議について
- 日程第23 議案第29号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第30号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第31号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第26 議案第32号 三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について
- 日程第27 議案第33号 第10次三朝町総合計画の一部変更について
- 日程第28 議案第34号 三朝町過疎地域自立促進計画について
- 日程第29 議案第35号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
- 日程第30 議案第36号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第31 議案第37号 鳥取県自治体 I C T 共同化広域連携協約を締結する協議について
- 日程第32 議案第38号 平成27年度三朝町一般会計補正予算（第 6 号）
- 日程第33 議案第39号 平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第34 議案第40号 平成27年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第35 議案第41号 平成27年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第36 議案第42号 平成27年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第37 議案第43号 平成27年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）

日程第38 議案第44号 平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第4号）

日程第39 議案第45号 平成27年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第2号）

出席議員（12名）

1 番 石 田 恭 二	2 番 吉 田 道 明
3 番 池 田 雅 俊	4 番 能 見 貞 明
5 番 中 信 貴美代	6 番 山 口 博
7 番 清 水 成 眞	8 番 藤 井 克 孝
9 番 平 井 満 博	10 番 山 田 道 治
11 番 牧 田 武 文	12 番 福 田 茂 樹

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 山 根 猛 昭 副主幹 小 椋 智 子

説明のため出席した者の職氏名

町長	吉 田 秀 光	副町長	岩 山 靖 尚
教育長	朝 倉 聡	総務課長	石 原 伸 二
会計管理者	山 根 智 美	危機管理課長	大 村 哲 也
財務課長	赤 坂 英 樹	町民税務課長	片 岡 里 美
福祉課長	新 寛	子育て健康課長	前 田 敦 子
農林課長	青 木 大 雄	企画観光課長	椎 名 克 秀
建設水道課長	米 原 英 章	教育総務課長	小 椋 泰 志
社会教育課長	西 田 寛 司	社会教育課参事	松 原 照 宗
農業委員会事務局長	吉 田 弘 幸	プランナールみささ支配人	小 椋 誠

午前 10 時 00 分開議

○議長（福田 茂樹君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 12 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員はございません。当局は、馬野社会教育課参事が家庭の事情により欠席です。以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第 1 議案第 7 号 から 日程第 39 議案第 45 号

○議長（福田 茂樹君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 39 までの 39 件の議案を一括議題といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 39 まで、すなわち議案第 7 号から議案第 45 号までの 39 件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は議事の進行上、1 件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第 7 号、平成 28 年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、ページの順を追って行います。

まず、第 2 表、債務負担行為、第 3 表、地方債、6 ページ、7 ページについて、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳入についての質疑を行います。

事項別明細書の歳入の町税から手数料の農林水産事業費手数料について、10 ページから 15 ページまで、質疑ありませんか。

9 番、平井議員。

○議員（9 番 平井 満博君） 14 ページの教育使用料の部分につきまして、多目的スポーツ広場使用料……。

○議長（福田 茂樹君） 平井議員、マイクのほう。

○議員（９番 平井 満博君） 三朝テニスコートから多目的スポーツ広場に変更されて、最近利用が盛んになってますけども、基本的には5,000円の収益しかないというふうにここ書いてありますけど、何かその使用されてる方の特例でこういう使用料が入らんということでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 社会教育課長、西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 多目的スポーツ広場の使用料についてでございますが、現在、グラウンドゴルフ愛好者とゲートボール愛好者によって大変よく使っているわけですが、町民の使用料ということでございまして、安く御利用いただいているということで、こういう結果になっております。

○議長（福田 茂樹君） ９番。

○議員（９番 平井 満博君） 基本的には使用料は町民全て平等という、公平ということの中でうたわれてますけども、安くといっても5,000円ということですので、利用料は取ってないというのが現状ではないですか。

○議長（福田 茂樹君） 西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 他の施設と比較しても、多目的スポーツ広場の使用料としては現在適正だというふうに考えております。

○議員（９番 平井 満博君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、15ページから22ページ、民生費委託費まで、質疑ありませんか。

6番、山口議員。

○議員（6番 山口 博君） 16ページの教育国庫補助金のところの国宝重要文化財保存整備費補助金、この数字が昨年に比べてすごく大きい数字になっておりますが、この理由を教えてください。

○議長（福田 茂樹君） 西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） こちらの国庫補助金ですが、大きく事業は2事業でございます。通常、例年と同様行っております三徳山遺跡発掘調査事業と、さらに名勝史跡三徳山史跡等買上

げ事業を行うようにしておりまして、特に三徳山史跡買上げ事業において補助金を多くいただくように予定をしておりまして、28年度はこのような国庫補助金ということになっております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、22ページから29ページまで、質疑ありませんか。

7番、清水議員。

○議員（7番 清水 成眞君） 24ページ、ふるさと応援寄附金であります。前年度5,000万円という目標でされてるわけでありまして。本年度は1億円という目標を立てられとるわけでありまして、この根拠を教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 1億円と計上させていただいております根拠でございますが、27年度につきまして、12月の中旬時点で1億円を超えた状況にございまして、実績に基づく見込み額でございます。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） 27年度でもう既に1億円を超えたということでありまして、どんどんその内容を充実していただいて、していただくようなことだと思いますが、この1億円というのはもっとふえるようなことを考えておられますでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 充実の部分でございます。現在、旅館と、それから飲食店等の事業所で利用できるようになっておりますが、全ての旅館、事業所とはなってございませんので、28年度につきましては全件目指してといいたいでしょうか、さらに拡充できるよう頑張りたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） ちょっと最後になりますので、また支出のほうでもお聞きしたいと思いますが、旅館利用券とか事業所等々であります。以前、執行部、町長も答弁されたと思いますが、お米だとかそういうようなものも、物品のほうも充実していただきたいと考えておりますが、その点はいかがでしょう。

○議長（福田 茂樹君） それって後のほうでないか。

○議員（7番 清水 成眞君） 支出のほうで、最後に、また支出のほうでもしますけど。

○議長（福田 茂樹君） そっちのほうです話でないかなと思いますけど。

椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 物品の拡充の部分でございます。関係団体、関係機関等とも連携を図りながら、そのように努めていけるよう検討してまいりたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番、池田議員。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 28 ページですけども、多目的駐車場利用収入納付金、これの数字の根拠をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 指定管理に出しております多目的駐車場でございますが、管理費用を実績に基づきまして28年度は約100万円と見込んでおります。その管理費用につきまして、収益部分がその管理費を超えた場合に、7割、3割で、7割は町のほうに還付をいただくという形の中での利用料収入納付金としております。

○議長（福田 茂樹君） 池田議員、いいですか。

○議員（3 番 池田 雅俊君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

続いて、歳出の議会費、30 ページから41 ページ、監査委員費まで、質疑ありませんか。

6 番、山口議員。

○議員（6 番 山口 博君） 35 ページの諸費のところですが、公開番組開催事業費ということとでかなり大きい数字が上げてありますが、この内訳をお知らせ願いたい。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 9月の10日と11日に予定をしておりますNHKの「のど自慢」の開催経費でございます。根拠といたしましては、内訳でございますが、委託料といたしまして、仮設照明ですとか、張り出しの仮設舞台、あるいは舞台美術の委託、ピアノ搬送等に290万円近い予算を上げさせていただいております。あと、職員のイベントに関連いたします時間外手当ですとか、それから当落選通知用のはがきの印刷代、それから電源設備と仮設の冷房設備のリース代でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4 番、能見議員。

○議員（4 番 能見 貞明君） 35 ページですけども、東郷湖遊漁負担金というのをちょっと説明をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 石原総務課長。

○総務課長（石原 伸二君） 東郷湖遊漁負担金につきましては、昭和40年から、近隣市町村及び集客機関に応分の負担金を東郷湖漁業協同組合に納める制度とされているものでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） それはどういう、負担金をしとかんと魚釣り行ったりなんかしたらいけんということですか、そういう意味、そうじゃなし。

○議長（福田 茂樹君） 石原総務課長。

○総務課長（石原 伸二君） そのとおりでございます。

○議員（4 番 能見 貞明君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） 1 番、石田議員。

○議員（1 番 石田 恭二君） 35 ページの防災諸費のこの建築物耐震診断改修費補助金ですけど、これは前年からの建物のが主な改修費なんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 27 年度に診断のほうをしまして、28 年度、耐震の改修費の補助金として上げております。27 年度と同じ旅館といいますか、ホテルです。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

ほかに。

3 番、池田議員。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 34 ページ、バス運行対策費補助金ですけども、せんだって2月の子ども夢議会でバスの補助金はかなり減ってきたというような答弁が子ども議会に対して行われておりましたが、これ何か減ってないような、内訳をちょっとよろしく、計算式を。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） バスの運行対策費補助金でございますが、28 年度につきましては、27 年度の実績額を上げさせていただいております。その前の年となります補助金の実績額が4,220 数万円でございます、27 年度につきましては3,833 万円ということで、この額を上げさせていただいております。

○議長（福田 茂樹君） 3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） せんだっての2月の子ども夢議会で、日本遺産に登録されて観光客がふえて、それでバスの運行、その補助金が減ったんだというふうな町長の答弁がございましたけども、27年度実績で上げる、これもっと低く抑えられるんじゃないでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 補助金が26年度から27年度にかけまして400万近く下がったわけですが、これにつきましては、まずはバス事業者のほうに聞き取り等も行いながらその原因について推測をしておるところでございますが、その一つといたしまして、主要幹線となっております三朝温泉、三徳山の幹線が利用がふえたというバスの運転士さんの聞き取り等もございまして、実際にそこの収益も上がっているわけですが、減ったというのも一つの要因だというふうに思っております。ただ、その部分が、じゃあ、今後どれだけという部分になりますと、根拠がございませんので、実績額でもちまして28年度予算化をさせていただきまして、12月の補助金確定の際に、その結果によりまして補正予算で対応させていただきたいと考えておるところでございます。

○議員（3 番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

清水議員。

○議員（7 番 清水 成真君） 今のバスの路線維持の部分であります、この金額というのは年々ふえてるわけでありまして。今さっき4,200万円という実績があったということで、3,800万円しかつけていないということでありまして、多分足りないんじゃないかなというふうに感じておりますが、この計算といいますか、この分は中部一円のバスの乗車率から考えて、三朝にも割り当てがあるというような、三朝だけのバス路線じゃなくて、中部一円のバス路線で考えて、足りない部分が支払われるというようなことをちょっと聞いたんですが、それで間違いないですか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 補助金算定におきましては、ちょっと難しいといいたいでしょうか、詳しい計算式がございまして、それによって算定をされて、運輸局の審査を受けられる形になりますが、大まかに申し上げますと、バス事業者全体の運営につきましても計算式に入ることになっておりますし、広域バス路線ということで自治体をまたがる部分等につきましても、割り振り等の費用負担が生じるものでございます。

○議長（福田 茂樹君） 7 番。

○議員（7 番 清水 成眞君） 今年度、後期の基本計画の中にも非常に前向いたものを書いてあります。新しい町営バスの検討、それから民間事業者への検討等々も入っておりますので、ぜひ検討を進めていってほしいと感じております。それはそれで終わります。

36 ページのふるさと応援基金……。

○議長（福田 茂樹君） いや、1 回座ってください。

7 番。

○議員（7 番 清水 成眞君） 36 ページ、ふるさと応援基金であります。この予算説明資料の 128 ページに書いてあることなのですが、28 年度から利用券利用額の手数料 10 %を廃止し、事業所の利用券利用店舗の拡大を図る。廃止をして拡大を図るということでありまして。あわせて、寄附申し出の際に交付していた交付金制度を廃止するという 2 つの、手数料と交付金を廃止するということですが、ちょっと詳しく教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 椎名課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 22 年度から始めた現在の制度でございますが、寄附金額の半額相当分を旅館利用券といたしまして、寄附をいただきました方に利用券を交付させていただいておりました。その使用された額面の精算におきまして、9 割部分を使用されたところに使用料として払わせていただいておりますが、言いかえますと、使用されました旅館でありますとか事業所は 10 %の御負担をいただいております。現在、全旅館とか全飲食店等が対象となっておりますのが、その 10 %の負担という部分がネックになっておりまして、旅館協同組合あるいは町の商工会さんのほうからも要望をいただいております。この 10 %がなければ、さらに利用できる施設が拡充できるという判断のもとに、今回、28 年度につきましてはその 10 %をなくして、100 %使われた事業所に使用料として払わせていただくという予算の組み方をさせていただいております。

あわせて、これまでふるさと納税につきましては、インターネットでの予約でありますとか、郵送等もございますが、役場の窓口に来ていただいて払っていただくような形もございました。そんな中で、より、三朝温泉に宿泊をされて、その際にその、わざわざ役場まで来ていただかなければなりませんので、利便性を高めるために旅館でも寄附のお申し出をいただくことができるような仕組みをしておりました。その際、寄附の申し込みをいただきました旅館さんの窓口到手数料として、利用券金額の 10 %を交付金としてお支払いするような流れをとっておりますが、今回の使用料の 10 %負担の撤廃とあわせて、この方法につきましても、実

態といたしまして、ヤフーでの交付金支払いの申し込みが8割近くを占めておりますことと、それから、実績といたしまして旅館での申し込みが余りないという実態の中から、この10%の制度はあわせてやめさせていただくことにしたものでございます。

○議員（7番 清水 成眞君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4番、能見議員。

○議員（4番 能見 貞明君） 36ページの全国瞬時警報システム、J－A L E R Tの保守経費というのをちょっと説明をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 全国瞬時警報システム、いわゆるJ－A L E R Tの保守経費でございまして、年間の動作確認、あるいは年間を通じての動作確認について、年1回、業者さんのほうに委託するものでございます。

○議員（4番 能見 貞明君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、41ページから47ページ、児童手当費まで、質疑ありませんか。41ページから47ページ。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、衛生費、47ページから50ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

6番、山口議員。

○議員（6番 山口 博君） 48ページの環境保全対策費のところでは伺いたいと思います。太陽光発電普及促進事業補助金が昨年と同額の318万円が計上されておりますけども、昨年の実績を反映したものなのか、実際にはどのような状況かを説明願いたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 片岡町民税務課長。

○町民税務課長（片岡 里美君） 太陽光発電等普及促進事業補助金でのお尋ねでございました。昨年、27年度の実績としまして、現在、4件の申請を受けております。今回、10件を計上しておりますが、昨年までが年間10件程度の補助金申請を受けておりますので、27年度は若干少ない金額でございますが、例年どおり10件の、上げております。それと、燃料電池システム

も、実績はございませんが、1件の見込みとして上げております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番、山口議員。

○議員（6番 山口 博君） 同じところの欄にあります小型合併処理浄化槽整備事業でございますけども、昨年に比べて、今回かなりふえた数字が設定されておりますが、対象となる状況はどのような形なのか、お知らせ願いたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 小型合併処理浄化槽でございます。本年度は5人槽を2基と、6・7人槽を1基、8人槽を1基ということで予算計上をさせていただいております。昨年まででございますけども、5人槽が主流だったということでございますけども、大家族で新築等が対象になったことから、大きい槽の申し込みが27年度もあっておりますんで、28年度も6・7人槽、8人槽ということで、大きい浄化槽のほうを予定をさせていただいております。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（6番 山口 博君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番、池田議員。

○議員（3番 池田 雅俊君） ごめんなさい、ページを間違えました。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、農林水産費、50ページから56ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

3番、池田議員。

○議員（3番 池田 雅俊君） ごめんなさい。51ページ、地域営農支援体制整備事業ですけども、この内容をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 地域営農支援体制整備事業についての御質問でありました。グリーンサービス等の水田受託に対するニーズが高まってきております。体制の強化も含めまして検討する必要があるということで、3つの項目で構成をいたしております。まず、体制を考える上で新たな雇用でありますとか、設備、機械等の装備を見直すということが必要になってまいりますが、経営ということが絡んでまいりますので、後年度を見通すという中で、新たな農家の支援に

取り組むための体制に向けた計画を策定するという意味で、県が実施をしております元気な里山応援事業という事業を導入してプランづくりに取り組みたいと考えております。この事業は、1年目はプランの策定でございますが、後年度、その体制に対する事業が2年間継続できるということもありまして、あわせて取り組んでいく予定になっております。

それから、2つ目の柱といたしまして、説明資料のほうでは言葉を上げておりますけれども、みんなで守る我が村の水田モデル事業と名前をつけておりますが、従来、水田を丸投げというのは言葉が少し悪うございますけれども、ようつくらないものを受けてきたという経過がございますが、少し役割分担をしまして、集落との間で調整ができるものについて作業を受けていただきながら、グリーンサービス等の機能を拡充するための手法を検討したいということで、モデル事業ということで、作業分担について集落に少し支援をしようという考え方でございます。

それから、3つ目は、従来から支援をしておりますが、グリーンサービスの運営支援ということで、今年度も引き続き500万の予算を計上いたしております。1番目の応援事業を使いながら後年度を見通すということで、この3本の事業で構成し、新たな名前といいますか、事業名として、地域営農支援体制整備事業ということで計画をさせていただいたところです。よろしくお願いいたします。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） その下のほうにあります鳥取梨生産振興事業補助金ですけども、三朝町におけるこの梨生産農家、この対象になつとところですけども、どれぐらいの件数あるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 農林課のほうで把握しておりますのは10件でございます。保ヶ平、それから中の谷で、吉尾、小河内、そういったあたりでの生産者ということで、これにはグリーンサービスも含めての10戸でございます。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1番、石田議員。

○議員（1番 石田 恭二君） 51ページの農業振興費です。がんばる地域プラン事業というのが今回2年目ということですけど、28年度の主な取り組みの内容を教えてください。

ます。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） がんばる地域プラン事業、2年目についてということでございます。

構成しております6つのプロジェクトは引き続き取り組んでまいりますが、三朝米の生産振興、それから三朝神倉大豆の、同じく生産振興ということでございますが、その中で、プランの核となっておりますのが、販売促進であり、ブランド化だというふうにまず思っております。こちらにつきましては、三朝米につきましては、特選三朝米ということでブランド化を進めていくためのリード役になるといいますか、引っ張っていくための策を予定をしております、27年度から試行したものを2月から三朝温泉でも使っていただいておりますが、これをさらに拡大し、販売につなげるような勢いを出していきたいと思っております。現在予定しておりますのは10ヘクタールでございます、まだまだ消費者にとって魅力が出るためには時間がかかろうかと思えますけれども、まずは三朝温泉でおいしいと言ってもらいたくことがブランド化への近道なのかなというふうにも考えておりますので、そういう意味では協議会等で皆さんの力をいただきながら具体的に進めてまいりたいと思っております。

それから、同じく大豆でございます。27年度、28ヘクタールまで持ってまいりました。プランでは30ヘクタールが目標でありまして、ライスセンターの乾燥機等も機能いたしまして進んでおるところでございます。なかなか物の特性として距離の長い場所での販売というのが難しいものでありますが、県内のスーパーですとか、そういう場所への広がり、それから島根県とか広島が生協との話も進んでおりますので、引き続き販路の拡大に向けて取り組んでいきたいと思っておりますが、中でも、まずは地元ということで、こちらにつきましては、地域の方にまずは食べていただきながら、食べて守ろうということで進めてまいりたいと思っております。

それで、これらをつなぐ要素として、担い手の育成ということがあります。27年度に三朝スタイルの担い手農家ということで協議会を立ち上げておりますので、こちらを力強く応援しながら水田を守っていきたいというふうに考えておるところでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番、山口議員。

○議員（6番 山口 博君） 55ページに緑の産業再生プロジェクト事業補助金っていうのが大きい数字で上がっておりまして、これは県からのほうの予算も同じ数字が上がっておりますが、これは森林組合の補助になるかと思えますけども、昨年も同じようなものが国から出て、ちょっ

と数字は少ないですけども、これは三朝町を経由していく理由はということなのかをちょっと聞きたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 緑プロの、これは木質バイオマスの関係の事業でございます。三朝町を経由する理由はということでございますが、拠点となりますのが森林組合の工場でございます。そういったものの立地をしている場合に、その自治体が事業を組むということで、これは県の緑の産業再生プロジェクトという事業の基金を使う事業で、町村の負担はなしに、それを町で申しますと通すというような事業になっております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 次に、松くい虫防除事業費で、その中に……。

○議長（福田 茂樹君） さっきのはもういいですか。

○議員（6 番 山口 博君） それは結構です。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 松くい虫の防除の中で、養蜂家の巣箱を移動するというのが書いてありますけども、実質、三朝町で養蜂をやっとられる事業の状態はどのようなものなのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 松くい虫の防除にかかわります三朝町の養蜂農家の状況ということでございます。実際に松くい虫の移動ということの対象になっております町内の養蜂家というのは、現在、恩地におられます1件だというふうに思っております。ただ、町内の養蜂農家だけではなしに、町内に置いてあります巣箱といいますか、箱のことで対応してまいりますので、中には倉吉から置いておられる方が数名おられるということで把握はしております。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

7 番。

○議員（7 番 清水 成真君） 毎年聞くわけでありましたが、ナラ枯れ対策の部分であります。今回、300本ということで210万ほど立っておりますが、現在、どのような状況に、被害状況はどのような状況になっているのか教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） ナラ枯れ被害の現在の状況についてという御質問であります。本町でも、依然、完治することにはなっておりませんが、一時の勢いはございませんで、少し

おさまるといいますか、過ぎておるかなというふうには感じております。県の中で申しますと、大山を中心とした、数字で申しますと、大山の山頂から１０キロの円を描いた地域が重点対策区域という位置づけになっておりまして、それから、中部の三朝町あたりは、被害拡大防止区域ということで、引き続き、事業で申しますと県の１０分の１０という１００％の支援をいただいて防除に当たるということでございます。町内では三朝温泉の周辺を中心に取り組んでおりますが、可能な限り駆除するということで進めておるところでございます。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ７番。

○議員（７番 清水 成眞君） ちょっとよく専門的なことはわからないんですが、このナラ枯れというのは何かの虫か何かで、ついているということだけは知っているんですが、これっていうのはもうどんどんどん移行して行って、最終的にはもうなくなるという、三朝町にはもういなくなるという認識でよろしいんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 過去の状況を見ますと、全くなくなるというものではないというふうに思います。ただ、波がございまして、そういう時期が今来ておるということでございます。おさまったというのは枯れた木が枯れてしまったというような思いも、感覚もありますけれども、そういう意味では自然の摂理の部分もありまして、森林で再生に向かっているという部分もあるかとは思っております。以上でございます。

○議員（７番 清水 成眞君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

３番、池田議員。

○議員（３番 池田 雅俊君） ５１ページ、三朝スタイルの担い手農家育成事業ですけども、対象者及びその育成事業内容、ちょっとお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） 三朝スタイルの担い手農家育成事業の状況、中身についてでございます。がんばる地域プランで担い手を育成するということで、このときに三朝スタイルという言葉を使っております。これは読んで言葉のとおりであります、三朝町の小規模でありながら担い手を育てるという意味合いの中で、国ですとか、そういう基準での担い手がなかなか難しいということで、町の独自の基準を持って進めようということでございます。

町の基準は、余り面積とか規模とか、そういう難しいことは申しておりませんで、やる気がある水田を受けてもらえるということで、今、広げてきておりますが、この事業の中身でござい

ますけれども、そういった中で水田を引き受けていただくということの支援をするために、10アール当たり、金額で申しますと、年間5,000円を支給していこうと、応援していこうという考え方で、対象となります農家は先ほど申しました担い手基準に合致しておりまして、設立をしました担い手協議会で一緒にやっていこうという意思のある方ということで、その方を対象に支援していこうとするものでございます。以上でございます。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

8番、藤井議員。

○議員（8番 藤井 克孝君） 55ページの分の中ほどの、きのこ王国とっとり推進事業、これ何件か、取り組み等と、この補助金に対しては何年ぐらい続けて出されるのか、これで1回きりなのか、お願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） きのこ王国とっとり推進事業についてでございます。この事業は、鳥取茸王という品種、大きなシイタケの品種でございますが、これをブランド化しようということで始められた事業でございまして、28年度から取り組んでまいりますので、後年度も続いていくものと考えております。なお、28年度につきましては、本町は1名ということで、事業の内容は、発生用のハウス施設を建設するものでございます。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 51ページ、地域特産物育成事業ですけども、地域特産物、これ三朝町、何々、あるいは1つだけか、考えておられるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 青木農林課長。

○農林課長（青木 大雄君） この事業は、県の助成を受けまして指定された産物の価格保障をするものでございます。品目につきましては、県の段階で指定がございまして、本町の場合は竹田の奥といいますか、山間部で生産されております夏秋トマトが対象品目になっておるところでございます。以上でございます。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい、わかりました。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1番、石田議員。

○議員（1番 石田 恭二君） 54ページの林業総務費の中の県営林道等竣工式経費、上がって

ますけど、これ予定はいつごろになるのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 県営林道の竣工式経費として上がっております波関俵原線の完成が、ことしの２８年の１１月を予定をしております。そのころまた三徳の地域協議会と協議して、日程のほうは決めさせていただきたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） １番。

○議員（１番 石田 恭二君） それで、ここは車両等は自由に出入りはできるんですよね。

○議長（福田 茂樹君） 米原課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 現在も林道南三朝線と県の施工した林道を町に移管されて、町のほうが管理しておりますけども、この部分の波関俵原線についても、現在は工事中通行どめの部分がありますんで、柵をかけておりますけども、そういった開通したら通れるようになります。管理は町でします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

３番、池田議員。

○議員（３番 池田 雅俊君） ５２ページの鳥獣被害対策のことについてですが、いわゆるイノシシ対策、鹿対策で柵等がいっぱいしてあるんです。これちょっと町長にお聞きしたいんですが、農業対策だけでない、いわゆる民家等に出てくるやつですね、天神も何回か出てきて、私もバット持って追っかけたですけども、そういったいわゆる住民の安全を守るための対策च्छूうのは、町としてはできないものでしょうか。町長にお聞きしたいです。

○議長（福田 茂樹君） 町長ですか。

吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 池田議員の有害鳥獣対策について、農家、農村を守るためだけでなく、地域の生活をなさってる住民を守るという観点でも考えたかどうかという御質疑であろうと思って伺いをしました。きのうのテレビで福島浪江町の状況が放映されておりました。まさにイノシシが大発生をしている状況ですね。ですから、現在、住まいはなさっておらない集落、あるいは町の中ということを縦横無尽に歩いているイノシシの状況が放映されておりました。本町も三朝温泉街に、それじゃあ、イノシシが出たかといいますと、出た事実がございます。ですから、イノシシの牙というのは非常に鋭い牙を持っています、やられると大変な重傷を負う、あるいは時には死にも至るというようなことが言われておりますので、そうした現実にはイノシシが住宅街に出たというような事実があると、対策を講じないといけないと思っております。以上で

ございます。

○議員（３番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、商工費、５６ページから５８ページ、公園管理費まで、質疑ありませんか。

７番。

○議員（７番 清水 成真君） 予算説明資料の１３８ページであります。観光客誘致対策費として９３８万円ほど総額で載っておるわけですが、三朝温泉開湯８５０年が最終の年度になって、そして三朝温泉と三徳山が日本遺産になったということで、非常に喜んでいるわけであります。三徳山については、結構な観光客がどんどんどんどんふえている現状のような、私は気はしておりますが、三朝温泉についてはなかなか伸び悩んでいるようなことも聞いております。そういう中において、この予算の中では、イベントでキュリー祭開催経費で４００万、毎年大体２００万の経費で、今回、４００万の経費ついとるわけですが、なかなかこういうような経費では観光客の誘致としては難しいのではないかと、もっと充実した予算をつけるべきではないかなと思っておりますが、その点、いかがでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） ２８年度につきましては、観光客を誘致に向けまして、日本遺産のお話も出ましたが、おもてなしという観点の中から、通常、２８年度事業で事業提案させていただく部分でございますが、それを前倒しをいたしまして、国の交付金充当させるために、今回の補正でも上げさせていただいているようなおもてなしの事業等も考えているところでございまして、そういったところで、個々の２８年度の事業費につきましては、議員おっしゃるとおりでございますが、密接に連携といいましょうか、事業を絡めていく中でおもてなし対策あるいは誘客促進対策に努めてまいりたいと思っております。

○議員（７番 清水 成真君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ６番、山口議員。

○議員（６番 山口 博君） ５７ページの観光費のところで、観光施設特別経費ということが書いてございます。中身を見ますと、多目的駐車場の池の修理のようでございますが、できてから間もないこの池をどのようにするのか、その辺を説明願いたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 昨年春にオープンをさせていただきました多目的駐車場の中に
ございます、重森三玲さんが作庭をされた池の再現の部分でございます。その当初段階では、そ
もそも枯れ山水ということもございまして、そこに水を残したままにするかどうかということで
検討したわけでございますが、重森さんのお弟子さんが岡山にいらっしまして御相談等かけ
たときに、現在の水のあるままで残されてはいかがでしょうという助言もいただいたことから、
オープン当初、これまでは水を張った状況にございました。これがどんどん流れるような仕組み
にはなっておりませんで、下がり水的なところの部分が多々ございまして、衛生上ちょっとよく
ないという判断をいたしまして、28年度でございますが、その部分につきまして、がらを入れ
て埋め立てをして、張りコンをしていく中で、上に小石等を置きながら、排水の部分は利用する
段階で若干の修繕を加えさせていただきたい、改修をさせていただきたいとするものでございま
す。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3番、池田議員。

○議員（3番 池田 雅俊君） 57ページですけれども、三朝町鳥取県中部地域雇用創出補助金、
説明見ますと、新規常用雇用の町内出身者に対して30万円ということで、150万円च्छゅう
ことは5人分を想定されておるようですが、これが例えばその倍の10名になったときには補正
で300万にするというふうに捉えてよろしいのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 中部1市4町で連携して実施をする事業でございますが、現在、
5名の予算を組ませていただいております。状況といたしましては3名が対象になれるよう
な状況でございます。池田議員の御質疑のように、それを数がどんどんふえまして5名以上にな
りました場合には、補正で対応させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします
します。

○議員（3番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番、山口議員。

○議員（6番 山口 博君） 同じ57ページでございますけれども、観光振興地域交付金ってい
形で、これは内訳を見ますと、旅館のほうに交付するような形になってるようですけれども、どう
いう中身でされるのかお聞かせください。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 観光振興地域交付金でございます。これにつきましては、日帰り入湯税相当額を旅館協同組合に交付金として交付をさせていただきまして、組合で事業を行っていただくものでございます。これまでの例といたしましては、誘客宣伝にお出かけになられたり、例えば、かにバスの運行等、さまざまな誘客活動を展開していただいているところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 1 番、石田議員。

○議員（1 番 石田 恭二君） 58 ページの公園管理費です。公園施設維持管理費と都市公園施設維持管理費と上がってるんですけど、これの、どのような管理をされてるかお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 公園管理費でございます。具体的には、やなせ公園、桜つつみ、それから三徳山のトイレ、もみじの里といったようなものの維持管理経費がこちらに計上してございまして、それぞれトイレ等の管理や草刈り等の管理の経費が上がっております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） その中に、ここで言うべきかどうか迷ったんですけど、街路灯とか表札とか標識等の点検等は含まれてないんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 含まれているか、含まれていないか。

赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 含まれておりません。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） きこの報道で、県外ですけど、街路灯が倒れて、女の子が指を切断する事故があったらしいです。これは1カ月前らしいんですけど、その原因を調べたときに、犬のおしっこで腐食して倒れたということがあったもので、ここで言うべきかどうかわかんないですけど、危機管理等の防火水利の標識とか建設水道なんかの交通安全の標識とか、そういうものの点検はどうかなと思ひまして、今回質問させていただいたんですけど。

○議長（福田 茂樹君） その他、その他でいくか。全部終わって、ここじゃなくて……。〔「町に関してのことでいいと思うんですけど」と呼ぶ者あり〕今、答えられますか。

○副町長（岩山 靖尚君） では、私のほうから。

○議長（福田 茂樹君） 岩山副町長。

○副町長（岩山 靖尚君） では、私のほうから施設管理の部分でございますので、答えさせていただきます。施設の標識とか、部分を含めまして、随時点検等するわけでございますけども、管理者等の部分を含めまして、また協議をさせて修繕等を行わせていただくというようなことで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。（発言する者あり）

しばらく休憩いたします。再開を１１時５分といたします。

午前１０時５６分休憩

.....

午前１１時０５分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

次に、土木費、５８ページから６１ページ、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

３番、池田議員。

○議員（３番 池田 雅俊君） ６０ページですけども、急傾斜地崩壊対策事業ですけども、三朝町におけるこの、いわゆる対象地域、件数をお知らせください。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 急傾斜の崩壊対策の今の実施箇所並びに測試等がありますけども、負担金で上げとる場所について御説明申し上げます。山田地内におきまして、以前からやっております山田地区、それから山田３地区、それから徳本、それから坂本の部分と、それから穴鴨、下西谷が１工区、２工区ということでございます。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（３番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

８番、藤井議員。

○議員（８番 藤井 克孝君） ５９ページ中ほどの道の駅の管理費の部分で上がってるんですけど、以前、楽市楽座の分のトイレの、あそこの新しくするような話があったと思うんですけど、その話はどのようになっておられるのか。それは県等が何か取り組むというような話があったと自分では認識してるんですけど。

○議長（福田 茂樹君） 予算は上がってますか。（発言する者あり）管理費が上がってる。（「管理費」と呼ぶ者あり）

○議員（８番 藤井 克孝君） 道の駅の管理費の２０万７,０００円。

○議長（福田 茂樹君） はい。

米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 道の駅の管理費で20万7,000円上がっておりますけども、これは道の駅のトイレの消耗品等、それから、そういった下水の、集排への、処理場への使用料とか、そういうもの上がっております。今後の道の駅のトイレの改修等につきましては、また検討するようなことになっております。この部分には入っておりません。

○議員（8番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、消防費、61ページから63ページ、原子力防災対策費まで、質疑ありませんか。

10番、山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 操法大会の出場経費で……。

○議長（福田 茂樹君） ページ数。

○議員（10番 山田 道治君） ページ数、62ページ。62ページの操法大会の出場経費、県の操法大会だけ、これ安いっちゃう、少ないっていうか、何で少ないんですか、ちょっと額がその上の2つとは、少ないような気がします。

○議長（福田 茂樹君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） この県操法大会の出動経費につきましては、郡大会と県大会の部分で、非常に間隔が狭まっているということで、この事前説明会でありますとか審査講習会等の出動経費が少なくなっているというのが現状でございます。ただ、県大会につきましては、予定ということで枠の確保をさせていただいてるところでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

ほかに。

9番、平井議員。

○議員（9番 平井 満博君） 62ページの退職消防団員報償金掛金というので……。

○議長（福田 茂樹君） マイクから離れていっちゃんよくなる。

○議員（9番 平井 満博君） 説明資料では定数団員ということになっておりますけども、基本的には実質団員の325で掛けたらと思いますけども、条例によって決まるということでしょうけども、そこらの考え方はどういことでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） お尋ねの掛金につきましては、条例の定数ということで消防団員等公務災害補償等共済掛金のほうの規約で定められておりまして、それに基づいて負担するということになっております。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 9 番。

○議員（9 番 平井 満博君） ちょっと数聞くのは悪いですけども、今、条例で三朝町は何名の人員か。

○議長（福田 茂樹君） 数は聞かんという話じゃなかったですかいね、我々の中で。ここではそういう数とかあんなんは聞かないという。（「聞いちゃったんで、もしあれだったら」と呼ぶ者あり）

大村危機管理課長。

聞かないように、今後。

○危機管理課長（大村 哲也君） 現在の条例定数は354人でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

4 番、能見議員。

○議員（4 番 能見 貞明君） 63 ページ、災害情報マップ作成事業、去年も上がったと思うんですけど、進捗状況というのはどうでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 非常に、住民参画ということで長期の期間をいただきたいということで委員会のほうでも説明させていただきましたが、現在、竹田地域で現地踏査が終わった段階、それから小鹿地域で順次現地踏査を始めております。竹田地域につきましては、おおむね住民の方に第1段階の協議ができる図面を鳥取大学のほうで作成していただいとるというような状況でございます。

○議長（福田 茂樹君） 4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） そういういろんな説明とか、そういうのをされとるということで、大体いつごろをめどに完成ということになりますか。

○議長（福田 茂樹君） 大村危機管理課長。

○危機管理課長（大村 哲也君） 今回の補正予算のほうで繰り越しということで提案させていただいたわけなんですけれども、平成28年度中には頑張りたいというふうなことで予定をさせて

いただいております。

○議員（４番 能見 貞明君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、教育費、６３ページから７３ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

４番、能見議員。

○議員（４番 能見 貞明君） ６６ページ、それから６７ページも載ってますけど、小学校ＡＥＤ設置事業が載ってますけども、これは新しく、まだついてないということですか、それとも、何か、バッテリーとかそういうものの交換ということでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） これはＡＥＤ、既に設置をしております、毎年、リース料ということでの金額でございます。

○議員（４番 能見 貞明君） わかりました、いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

９番、平井議員。

○議員（９番 平井 満博君） ６６ページの小学校統合事業費の６,５５０万の件ですけども、説明資料によりますと、この６,５５０万の中でいくと不動産鑑定、用地測量、それから実施設計とありますけども、計画っていうか、スケジュールの中では契約設計だったかいな。（「基本設計」と呼ぶ者あり）基本設計だ。基本設計という、最初に基本設計があって、次に実施設計ということですけども、ここに、説明資料に書いてある実施設計っていうのは基本設計の考え方ですか、それとも、もう実施設計の考え方ですか。

○議長（福田 茂樹君） 小椋教育総務課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） ここで実施設計等という表現をしております。ここの、こちらのほうの間違い、基本設計等ということで御理解いただきたいと思います。訂正をさせていただきます。

○議長（福田 茂樹君） ９番。

○議員（９番 平井 満博君） この基本設計というのは、学校の施設の基本設計ということで理解すればいいんですか。

○議長（福田 茂樹君） 小椋課長。

○教育総務課長（小椋 泰志君） 新しい校舎を建てるための基本設計等ということでございます。

○議員（９番 平井 満博君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

９番、平井議員。

○議員（９番 平井 満博君） ７０ページの名勝及び史跡三徳山史跡等買上げ事業で１億３６９万６,０００円上がっていますが、これを買う、一遍に聞いておきます、目的と、それから全体がどれだけあって、全体を買うのか、それから、この部分については合谷との協議の部分だと思えますので、合谷と合意ができているのかということと、それから、公共がこういった取得する部分については管理計画という部分がきちんとつくられて、こういう管理をしますから購入しますという、その管理計画があるのかということをお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 西田社会教育課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） ３点ほどお尋ねだったかと思います。１つは目的、１つは範囲、それから、管理に係る計画があるかということだったかと思います。

○議長（福田 茂樹君） 合谷との合意。

○社会教育課長（西田 寛司君） なら、４つですね。合谷との交渉ということで。

１つ、目的につきましては、名勝史跡三徳山並びに国立公園ということで、三徳山地区が指定され、日本遺産にもその認定を受けたということを受けまして、今まで三徳山につきましては保存管理については計画を持って進めておりますが、一步進んで活用ということを考えていく時代になっているということで、活用を目標といいたいでしょうか、それを踏まえて購入していこうということがこの大きな目標でして、将来に向けて三徳山地区で文化財を中心とした活用を考えていくために購入していこうということを目的としております。その範囲については、三徳山史跡名勝指定地の範囲において購入していこうということでございます。

それから、管理計画については、文化庁からも指導をいただいているところでございますが、今現在の保存管理計画を保存管理活用計画という格好で見直す時期が来ているというような御指導もいただいております、近い将来にはそういう保存管理活用計画という中にうたっていくことになろうかと思えます。当面は管理計画というものは、具体的なものはつくってありません。

さらに、合谷との交渉はどうかということが、話し合いはどうかという御質問もございました。三徳地区の皆さんと、今後協議していくと、前段としてそういうような町で史跡名勝地の土地購入についてお願いするということはお話としてさせていただいております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） ９番。

○議員（９番 平井 満博君） 史跡名勝地の地域っていうのは結構面積的にはあると思うんですけど、今回の上がってきとるのは全体を測量して購入するっていうことですか、一部ですか。

○議長（福田 茂樹君） 西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 今回は三徳山地域の一部を購入させてもらおうとして提案させていただいております。

○議長（福田 茂樹君） ９番。

○議員（９番 平井 満博君） 基本的には、やっぱり提案される段階においては管理計画というものがあって初めて提案されるべきではないかっていうふうに思いますけど、先ほどの答弁は管理計画はありませんということですけども、そこに合致点があるんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 管理をすと言いながら、管理計画がないんじゃないのという。
西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 当面は、先ほど言いましたように保存管理活用計画の中で、その場所を有効に活用しようとするものですが、議員お尋ねの、もう少し踏み入れた細かい計画っていうものは現在ないということで、それは全く別物というか、離れたものだというふうな理解はございません。ただ、一步進んでの、さらに進んでの活用計画っていうのは必要だというふうに考えております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。
６番。

○議員（６番 山口 博君） ７０ページで同じくですけども、三徳山遺跡発掘調査等事業で、昨年も同じ地域で同じような内容で調査があったかと思えますけども、その辺、これは年次的な計画であるのか、その進捗状況はどうなってるか。

○議長（福田 茂樹君） 西田社会教育課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） こちらにつきましては年次計画に基づいて行うものと、三徳山の修理事業に伴うものと両方ございます。この中には正善院の敷地内での発掘調査も入っておりますし、神倉地区の湯という場所の発掘調査もこの中に入っております。平成２８年度は大きくその２つの事業に取り組むということでございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。
３番。

○議員（３番 池田 雅俊君） ６９ページですけども、女流本因坊戦三朝大会開催事業補助金１００万円、去年、三朝町で開催して、私もちょっと囲碁をやるんですけども、非常に大きな、女

流の大会の中では一番大きな大会で、注目を浴びた大会で、またこれがことしも三朝で開催されるというのは非常に喜ばしいことだとは思いますが、ただ、私も日本棋院倉吉支部のほうのいろんな手伝いとかをさせていただいて、議員であるという立場で非常に大きな、ちょっと不平不満が出たのは、いわゆる三朝町としてのおもてなしといいますか、大きな大会の場合には前夜祭というのがございます。こういったことも全部ひっくるめて、いやあ、三朝はほんにええとこだなという一つのPRになる場だと思います。ですから、町長、ひとつこの大会がさらに盛り上がるように、いわゆる町を使っただけで、町の施設を使っただけのそういったものに向けて、いわゆる不平不満が出ないような、そういった対策というのをひとつお願いしておきたいと思います。

町長、一言お願い、できたら。

○議長（福田 茂樹君） 町長でない、企画観光課長でしょう。企画観光課長、担当課長ですから。あっちかい、こっちかい、ごめん、課長に。

西田課長。

○社会教育課長（西田 寛司君） 担当するところから言いますと、この女流本因坊戦三朝大会を実施される実行委員会なりに補助をする立場でございます。議員がおっしゃるような趣旨のことをその実行委員会にお話しして、できるだけみんなが歓迎できる、そういうすばらしい大会にさせていただくように要請してまいりたいと思います。以上、答弁いたします。

○議員（3番 池田 雅俊君） よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費、73ページから予備費、75ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、給与費明細書、76ページから最後まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

最後に、その他全般について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認めます。

以上で議案第7号、平成28年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

議案第 8 号、平成 2 8 年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 2 8 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 0 号、平成 2 8 年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 1 号、平成 2 8 年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 2 号、平成 2 8 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 3 号、平成 2 8 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 4 号、平成 2 8 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 5 号、平成 2 8 年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 6 号、平成 2 8 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 17 号、平成 28 年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

8 番、藤井議員。

○議員（8 番 藤井 克孝君） この水道事業に関してですけど、新しい水源地、この部分はどのように今なっとるのか、お願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 新水源の開発につきましては、26 年、7 年と実施してきました、よい箇所がないというか、水が出なかったということもあります。28 年度予算につきましては、議会のほうでも御指摘等ありまして、簡易水道からの水を上水に使ったらどうかというような意見もありました。28 年度につきましては、そういった簡易水道の場所を上水に使えるかどうか検討して、事業費等を算出して検討していきたいというようなことを思っております。

○議長（福田 茂樹君） いいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 18 号、平成 28 年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 19 号、行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 20 号、学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 21 号、三朝町職員の降給に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 22 号、三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 23 号、三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

9 番、平井議員。

○議員（9 番 平井 満博君） 24 ページの第 4 条、三朝町国民宿舎は常に企業の経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するよう運営するという、この表記については、何だか相反するような、企業は利益を追求せえというし、増進をなささいという書き方がしてあるんですけども、基本的には国民宿舎というのは三朝町の場合、改正前の基本的には温泉の大衆化という部分をやっぱり残しながら、気軽に三朝町の町民が風呂に入れるというふうな表記も入れるべきではないかというふうに思いますが、その部分について御見解と、それから 30 ページの企業職員、公営企業の職員でなくなるという部分の中で、職員に対してきちんと説明されとるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 2 点ですか。

○議員（9 番 平井 満博君） 2 点。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） まず、1 点目の経営の基本方針の部分でございます。おっしゃっており、温泉が大衆利用化と健全な休養宿泊施設ということでございますが、指定管理者に移行することに伴いまして表記を多少変えてはおりますけど、公共の福祉を増進するということでございまして、当然にそういった温泉の、町民へのそういった利用だとか、宿泊休養施設として町民や地域への貢献というのは大事なことだと思っております。そういう意味で、これを表記として簡素に変えてはおりますが、基本的な考え方としては変えるものではないということでございます。

それと、2 点目の、職員に対して説明をしているのかということでございます。職員に対しましては、これまで検討の状況とかを議会等にも説明をしてまいったわけでございますが、その都度でございますが、職員の労働組合ですとか、それから管理職等にも説明は、検討の状況と方針については説明をしてきております。

○議長（福田 茂樹君） 9 番。

○議員（9 番 平井 満博君） 公共の福祉というのは、企業側からいったら経済性には反することであって、どうにでも捉えられる、公共の福祉っていう部分はね。本当に町民が温泉に親しめ

るっていうか、そういう項目をやっぱり条件の中に入れて、条例の中に入れておかんと、企業の判断でここはどうにでも解釈のできる文面だというふうに思いますけども。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 条例にということでございますが、指定管理者を導入に当たりましては、公募の条件でありますとか、それから個別に事業者と協定を締結いたします。その公募、それから選定に至る手続、それから、その協定の締結に際しまして町民へのそういった温泉の利用だとか、そういった地域への貢献、町民へのそういった貢献を大切にといいますか、そういったことを要件に入れながら進めてまいりたいと思いますので、御理解をいただけたらと思います。

○議長（福田 茂樹君） 9 番。

○議員（9 番 平井 満博君） 今回提案されとる条例の変更というのは、管理を委託するという中で、こういう条件の中で検討したいということの中の条例の変更ということで、即これが4月1日からこの条例が施行されるというふうでない、この間の説明では3年後をめどにということだったですけども、そのように理解していいということですか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂財務課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） おっしゃるとおり、なるべく早期の導入を目指したいということでございますが、施行日をいつというふうには明確にはしておりません。いろいろ不確定要素がございます。今後検討していかなければならない課題もございますが、こういった方針にするという決定をしないと、次の公募ですとか、そういった手続に進めないということもございます。今後、そういった方針等につきまして、公募等の要件とか、そういったこと、詳しい指定管理の内容については今後も協議をしてまいりたいと思いますし、おっしゃるように、当然施行日までにさらに条例の改正というのにも必要があれば可能ではあるとは思っております。要件を詰める段階で、もし不都合が生じた場合は、その辺は柔軟に考えてはとは思っておりますが、現時点でこういった方針で進めさせていただけたらというふうに思っているところでございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

3 番、池田議員。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 私も平井議員の言われたことに非常に賛成なんですけど、こういった条文にしないと、あるいは平井議員言われたように大衆化といった、あるいは三朝町の指定管理であるがゆえに町民を優遇しなさいというようなことが入っておっても、これがいわゆる指定管理業者、応募されるわけですけども、その手かせ足かせになるというふうには到底思えません。ですから、やっぱりそういったものはきちっと条例化、文書化して出しとくべきであって、

これは町民に対しても指定管理にはなるけども、やはりブランナールは、名前はわかりませんけども、三朝町のものであるという意識づけという意味でも、このところは非常に重要な文で、このところはやっぱりつけ足してというか、最初の文章を取り入れていくべきではないかというふうに考えますが、どういうふうにお考えでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂課長。

○財務課長（赤坂 英樹君） 先ほど平井議員さんの御質問にお答えした考え方でございます。御意見として伺っておきます。

○議長（福田 茂樹君） ええですか。

○議員（3 番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 2 4 号、三朝町税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 5 号、三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 6 号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 2 7 号、三朝町産業振興審議会設置条例の廃止について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 8 号、鳥取県行政不服審査会共同設置規約を制定する協議について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 9 号、三朝町ふるさと健康むら指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第30号、三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第31号、三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

10番、山田議員。

○議員（10番 山田 道治君） 利用料金のことについてですけども、今、町内の方と町外の方の区別されてますけども、金額はいいんですけども、その徴収方法として団体が、団体の方の中に、団体が申し込まれた中に1人でも町外者がおれば、残りの方はみんな町外者の料金として払う、つまり例えば1,000人の方が団体で申し込まれて1人町外の方がおられれば、999人はその町外の料金として支払わなければいけないと、この考え方はどういうふうに説明されますか。

○議長（福田 茂樹君） 山田議員、これは議案は指定管理の指定についてということですので。

○議員（10番 山田 道治君） その指定管理の中身について。中身をきょう精査されて、指定管理者に出されるわけですから。その精査されるもとの部分を問うてるんです。

○議長（福田 茂樹君） もとの部分は、ここの議案には、どうなんでしょう、適当でしょうか。

○議員（10番 山田 道治君） そういうことを認めて指定管理に出されるのかということをお聞きしたいです。（「指定管理者がいいか悪いかちょう話」と呼ぶ者あり）いいか悪いかじゃなくて……。

○議長（福田 茂樹君） いや、これはそうじゃないですか。

○議員（10番 山田 道治君） どういう要件で指定管理に出されるのかと、その条件の部分についてお聞きしたいと。

○議長（福田 茂樹君） 指定管理の条件ですか。

○議員（10番 山田 道治君） 出されるのは結構なんですよ。中身として、前提として、そういうことを認めて出されるのかということをお聞きしたいんです。その中身について今話ししてるんです。

○議長（福田 茂樹君） 中身。

○議員（10番 山田 道治君） だめですか。

○議長（福田 茂樹君） 中身を精査してここに来るとという認識で、この指定に対してどうかという、今、問いですから。

○議員（10番 山田 道治君）　そうです。だから、指定管理ではお互い契約といいますか、結ばれるでしょう。

○議長（福田 茂樹君）　わかりました。座ってください。答えます。

○議員（10番 山田 道治君）　質問、内容わかりましたか。

○議長（福田 茂樹君）　内容か、わかった。座ってください。

　　椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君）　三朝町総合スポーツセンターの使用料の部分についての御質問だと承りました。指定管理に現在出させていただいておりまして、スポーツセンターの管理運営規程の中で、使用料について定めてございます。これは町に対しまして申請をいただいて決しているものですが、現状といたしまして、今年度1年間は改修のためにトレーニングルームのみの使用となっております。そんな中で、トレーニングルームにつきましては1時間当たり1団体が100円未満でありますとか、町内でしたらそうですし、町外でしたら数十円違いで料金をいただくような形で運営をさせていただいております。ほかの体育館施設全てにつきまして町内利用の場合と町外利用の場合という形で料金を設定しておるわけですが、その料金徴収の際に、町外の方が1人でもいらっしゃれば、町外料金として料金をいただきますという形で明記をしておるところでございます。これが、例えば気持ち的には半数とかそういうのもあるとは思いますが、その線引きの中で、現在の規定といたしましては、1人でもいらっしゃった場合には町外の料金をいただくという形で運営をさせていただいております。

○議長（福田 茂樹君）　10番。

○議員（10番 山田 道治君）　それはちょっとおかしいなというふうに考えるわけです。それで、自分たちが、町内の方がこれだけだと、町外の方がこれだけだと言って申請されて、それぞれが払われれば済むことじゃないかなと思いますけども、一律、さっき言いましたように、1,000人のうち1人でも町外の方がおられれば999人の町内の方も一緒に、金額は知れとるんですけども、町外の料金になってしまうと。その考え方がちょっとよくわからないんですよね。線引きが難しいって言われたけど、申告して、うちの団体は何人が町内ですと、何人が町外ですよというふうに言われて払われれば済むことじゃないかなと思いますけども、もう一度答弁を。

○議長（福田 茂樹君）　椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君）　現在運用しております使用料規定につきまして、体育館施設が改修となりましたことから、その利用料金には照明器具等も加算されるような形の……。

○議員（10番 山田 道治君）　それはわかるんです、それは。

○企画観光課長（椎名 克秀君） となっておりまして、見直す時期でございます。その検討におきまして指定管理者と協議をさせていただきたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） いいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 3 2 号、三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 3 号、第 1 0 次三朝町総合計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 3 4 号、三朝町過疎地域自立促進計画について、質疑ありませんか。

3 番、池田議員。

○議員（3 番 池田 雅俊君） この 3 4 号なんですけど、いわゆる総合計画の中で、ここの 1 0 6 ページのところに人口展望が出ておりまして、平成 3 7 年は、1 0 年後ですけども、約 1, 0 0 0 人減るということは、やっぱりこのままずっと年間 1 0 0 人ずつ人口が減少していくという、いわゆる予定っちゃうか、それになってますけども、この人口対策っていうのが非常に大きな問題だと思います。自然増は確かに望めないかもわかりませんが、そうすると社会増というものを考えなくてはならない。そういった計画というものをもう少しこういった形で三朝に人を呼ぶんだというものがあってしかるべきだと思いますが、この計画、そこのところについて、やっぱりもう少し出してほしいなというふうに思いますが、どういうふうに考えておられるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） この過疎地域自立促進計画でございますが、過疎地域の自立促進特別措置法に基づきまして行うものでございます。その目的といたしましては、議員おっしゃいますように、地域の自立促進を図りまして、もって住民福祉の向上あるいは雇用の拡大、地域格差の是正等、寄与することを目的としてつくる計画でございます。その計画の中の見込みといたしまして、現状を捉えた上で人口の部分につきましては推計をしながら、今後の事業計画を立てているわけでございますが、当然その自然増は別といたしまして、社会増の中で、移住定住等を含めましたところのソフト部分につきましても、この計画の中で考えていくものだというふう

に思っておりますので。あるいは計画途中でありましても、そういう対象事業等がありましたら、こういうものに追加をさせていただきながら、そちらの対策をとらせていただくような形にさせていただきたいと考えております。

○議長（福田 茂樹君） 3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） これ自立なんですよ、自立を考えなくてはならない。今の話聞いておりますと、過疎地域指定のまんま、これを何とか、過疎地域を指定されたまんま維持しようというふうにしか聞こえない。過疎地域指定を外れるような努力च्छゅうか、そういった方向性を出して初めて自立という言葉が使えるんじゃないかと思うんですけども。そこらについての、何च्छゅうか、絵に描いた餅になるかもわからんけども、そういったものが出てきて初めて、そういった自立の計画だということが言えるんじゃないでしょうか、どうでしょう。

○議長（福田 茂樹君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） おっしゃるとおりだと思います。活力が低下しないように、きちんと自立した町であり続けられるように、今後、計画の進捗を図ってまいりたいと思います。よろしくお願いします。

○議員（3 番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 3 5 号、辺地に係る公共的施設の総合整備計画について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 6 号、定住自立圏形成協定の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 7 号、鳥取県自治体 I C T 共同化広域連携協約を締結する協議について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 3 8 号、平成 2 7 年度三朝町一般会計補正予算（第 6 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 39 号、平成 27 年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について、
質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 40 号、平成 27 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について、質疑
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 41 号、平成 27 年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑
ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 42 号、平成 27 年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑
ありませんか。

3 番、池田議員。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 73 ページですけれども、使用料及び手数料、温泉配湯使用料、現
年分、121 万不足っていますか、減になっております。この不足理由、お願いします。

○議長（福田 茂樹君） 米原建設水道課長。

○建設水道課長（米原 英章君） 温泉の使用料の減が 121 万 1,000 円ということでございま
す。今現在の実績見込みということでございますけれども、旅館等の使用料が減ってきているとい
うようなことで減となっております。

○議員（3 番 池田 雅俊君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 43 号、平成 27 年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑あ
りませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第44号、平成27年度三朝町水道事業会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第45号、平成27年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

3番、池田議員。

○議員（3番 池田 雅俊君） 99ページですけども、収入のところですよ。特別利益、既決予算ゼロに対して、補正ざっと1,000万からの増額になると、これの中身をお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 小椋国民宿舎支配人。

○プランナールみささ支配人（小椋 誠君） 池田議員の御質問についてお答えいたします。この特別利益でございますけども、一昨年から出ました公営企業の会計制度による引当金のものでございます。この945万9,000円というものの金額でございますけども、こちらに関しましては、一旦引き上げたものが年度末には不用になるということがありまして、その金額を特別利益にて収入として上げるというものでございます。

○議員（3番 池田 雅俊君） わかった。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

お諮りします。ただいま議題としております39件の議案のうち、議案第7号、平成28年度三朝町一般会計予算、議案第38号、平成27年度三朝町一般会計補正予算（第6号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することとなっており、特別委員の選任は議長が指名することとなっておりますので、総務教育常任委員会から清水成真議員、山口博議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、山田道治議員、副議長、平井満博議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から清水成真議員、山口博議員、産業民生常任委員会から能見貞明議員、山田道治議員、副議長、平井満博議員、以

上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の 37 件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 7 号及び議案第 38 号を除く 37 件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

○議長（福田 茂樹君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

午前 11 時 53 分散会
